

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当

昭和56年10月12日 第26報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Anabaena macrospora</i> *	20		
(藍) <i>Phormidium</i> sp.*	200		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	140		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	40		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	80		
(緑) <i>Planktosphaeria gelatinosa</i>	320		
(緑) <i>Oocystis</i> sp.	20		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	7680	◎	○
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	60		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	380	○	◎
(緑) <i>Staurastrum sebaldi</i> var. <i>productum</i>	20		
(緑) <i>Staurastrum submanfeldtii</i>	20		
(藍) 藍藻綱	220	2.4	0.8
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	180	2.0	1.0
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	80	0.9	0.6
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	8500	94.7	97.5
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	8980	総体積 (μm^3)	2.18E+07
種類数	12		

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第1優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	7680

第2優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	380

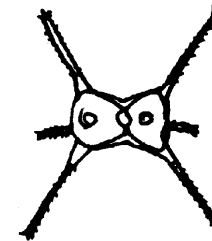
植物プランクトン第1優占種



Pediastrum biwae
(ビワクンショウモ)
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ビワクンショウモと呼ばれている。

植物プランクトン第2優占種



***Staurastrum dorsidentiferum*
var. *ornatum***
(スタウラスツルム)
緑藻綱

ツツミモの仲間属する大型のプランクトンで、細胞の中間がくびれている。横から見ると、4本の腕が出ているように見える。上から見ると3本の腕が出ているように見える。